

<資料5> 部会を超えて取り組みを進めるテーマ

各部会・事務局で協議する中で、「1つの部会だけでは対応が難しい」「さまざまな年代に関係している」「部会を超えて協議する必要がある」というテーマについては **部会ではなく、関係課が集まって協議をしていく** という形で取り組んでいくことになりました。

関係課で協議したことは、部会や策定委員会で報告し、意見をいただきながら取り組みを進めていきます。

テーマ	これまでの部会・策定委員会での意見	現在の状況	R3年度の取り組み
<p>【外国人とのコミュニケーション】</p> <p>外国人移住者が増える中で日本語が十分でなくコミュニケーションが難しい人・地域があるため対応が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で働いている方が、本国からパートナーを呼び寄せた時にトラブルになることがある。パートナーは日本語が話せない可能性も高く、女性であれば出産して子育てということになると、問題が出てくるのではないかと。 ・外国の方が何が不便か課題を明確にしたうえで、子どもには子どもの対応が必要。逆に保護者が日本語をしゃべれるようになって、学校に入って学習支援ができるようになると、それは戦力になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どういった困りごとがあるのか、ニーズを把握しきれていない。 <p>【総務課】 市役所本庁各階に翻訳アプリが入ったタブレットを導入済み。 ※付き添いの方が一緒に来たり、外国人の方が持っているスマホの翻訳アプリを使用したりするケースがほとんどで、利用実績はほぼ無し。</p> <p>【環境対策課】 ・ごみ冊子の外国語版を作成し、R2年度に市HPへ掲載。(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タガログ語の5種類)</p> <p>【人権課】 相談があった時は県の国際交流協会を紹介している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室の開設に向けて、外国人住民や事業所を対象にニーズ調査を実施(日本語教室のことだけでなく生活全般についてアンケート調査) <p style="text-align: center;">↓</p> <p>R4年度中の開設を予定</p>

参考

香南市の外国人登録者データ (R3.6月末)

合計343人 (男 182人 女 161人)

年齢別 14歳以下 13人、15～64歳 324人、65歳以上 6人

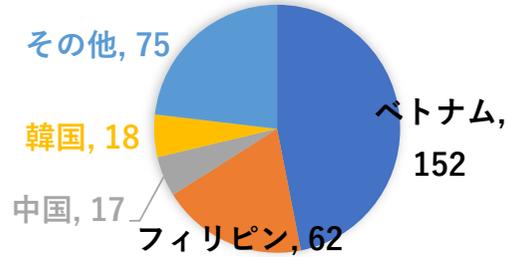
地区別 赤岡町 45人、香我美町 52人、野市町 124人、夜須町 70人、吉川町 52人

国籍 ベトナム 147人、フィリピン 54人、中国 31人、その他 バングラデシュ、カンボジア、韓国、インド等 全25カ国

香南市主催日本語教室の開設について

令和3年1月12日 (公財) 高知県国際交流協会 作成

香南市外国人住民数324人 (2020.6月)



実行

- ① 地域を担う在住外国人が生活や仕事のための日本語を学ぶ教室を作る。
- ② 住民同士が日頃から顔の見える場・繋がり場として教室を活用する。

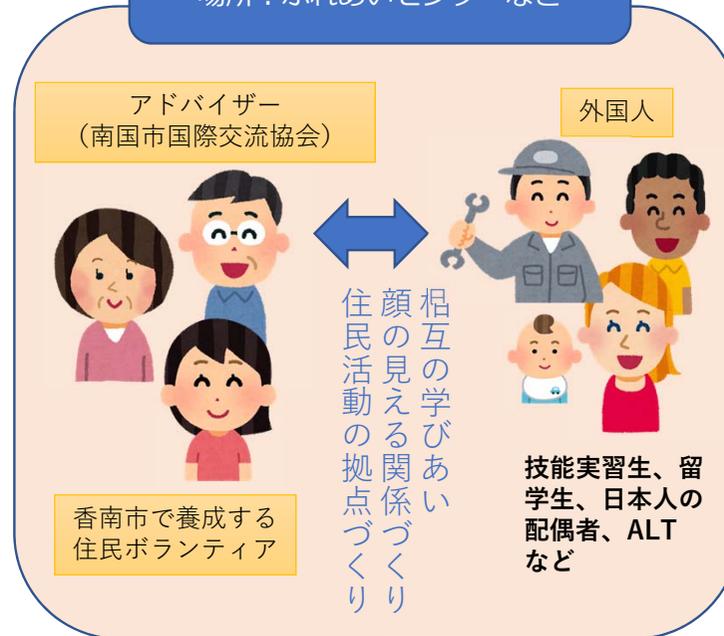
めざすもの

外国人も**地域で生活を共にする存在**として日本語を学びながら**地域住民との関わりあい**を深める

(例) とさしにほんごサロンの様子

日本語教室のイメージ

場所：ふれあいセンターなど



今後の流れ

	今後の流れ
令和3年春	香南市がニーズ調査を実施。(対象：外国人住民・事業所etc) 日本語学習のことだけではなく生活全般のニーズを把握
令和3年度秋	ニーズ調査結果をもとに香南市が日本語教室事業の予算計上
令和4年度春	ボランティア養成講座(当協会主催) 教室設置に向けての検討会の実施
令和4年度夏以降	・試験的に教室スタート 「のいち日本語教室(仮)」 ※南国国際交流協会 講師がサポート ※ボランティア向け研修は年に数回当協会実施

運営に要する費用や発生する事務

費用

年間
10万円
程度

内訳：

- ・アドバイザー謝金 (南国市国際交流協会) 60,000円 (1回5千円/12回)
- ・教材、消耗品費、交流会費：30,000円
- ・保険料 etc

業務

- 会場確保
- 広報(チラシ作成・印刷)
- ボランティアとの連絡調整
- アドバイザー謝金支払い
- 事業の進捗管理
- 検討会の参加
- 交流会の補助
- 会場確保 (交流会等)



教室の様子



地域住民との交流会・防災学習会